

# ADVANEX NOW

## 第63期 上半期のご報告

### 株主・投資家の皆様へ

第63期上半期のご報告をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当上半期における経済環境は、新興国向けの輸出増加や国内消費の持ち直しにより回復基調が続きました。当社が関連する市場においても国内外で需要が回復し、生産と販売が伸びたことにより、業績を改善することができました。その一方で、ヒンジ事業においては需要の減少などにより収益が悪化しており、建て直しが急務となっております。

グループを挙げて問題点を解決し、通期業績計画の達成と、さらなる収益性の向上に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

**ADVANEX**  
株式会社アドバネクス

代表取締役会長兼社長

加藤 雅一



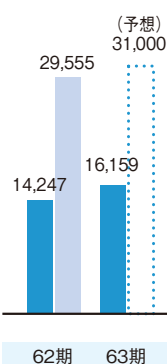
### 業績ハイライト

#### 業績ハイライト

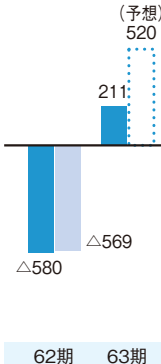
■ 上半期 ■ 通期

(単位: 百万円)

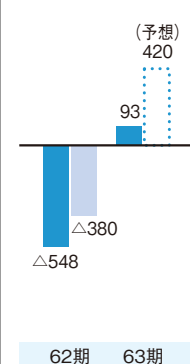
#### 売上高



#### 経常利益



#### 当期(四半期)純利益



### 業績総括

当上半期の当社グループの業績は下記のようにになりました。

- 売上高…………… 161億59百万円
- 経常利益…………… 2億11百万円
- 四半期純利益…………… 93百万円

当上半期は、OA機器市場や自動車市場において国内外で需要が回復し、生産と販売が伸びました。その結果、グループ全体で売上高、利益面ともに前年同期を大きく上回ることができました。事業別にみると、精密ばね事業、モーター事業、プラスチック事業において収益が回復・改善しており、黒字化を達成しています。しかし、ヒンジ事業については携帯電話向けの需要減少やノートパソコン向けの販売低迷が響き、損失が拡大しました。

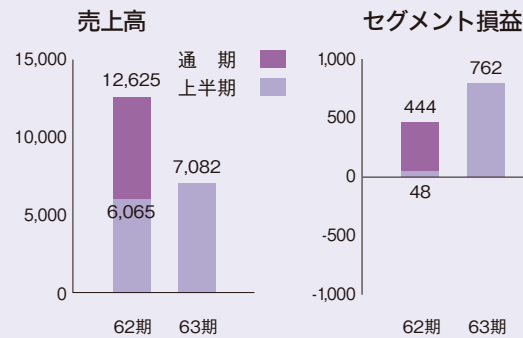
下半期もヒンジ事業での収益悪化が予想されるものの、精密ばね事業において通期の業績が計画を上回る見込みであることから、通期連結業績は期初の計画通りになるものと予想しています。

(単位: 百万円)

### 精密ばね事業

OA機器向けや自動車向けの線ばね・板ばねの需要回復により、売上高は前年同期比16.8%増の70億82百万円となりました。また、売上高の増加と固定費削減効果により、セグメント利益は7億62百万円となりました。

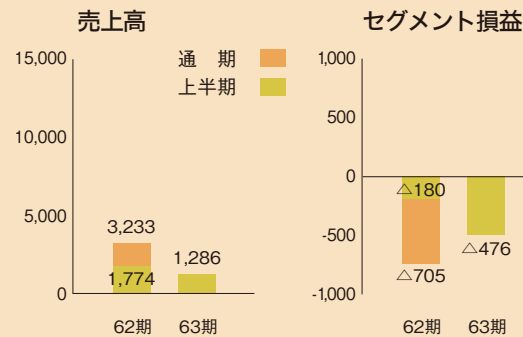
下半期もOA機器向けや自動車向けの販売を強化し、国内および海外において収益の拡大を目指します。また、来期の受注増加に向けて、新規商品の開発・生産体制強化を進めます。



### ヒンジ事業

ヒンジユニット販売は、携帯電話向けが国内外ともに落ち込み、ノートパソコン向けでは技術面・品質面の問題による立上げの遅れから販売が低迷したため、売上高は前年同期比27.5%減の12億86百万円、セグメント損失は4億76百万円となりました。

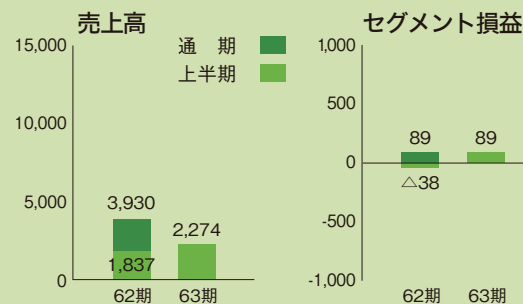
下半期も厳しい収益状況が続くことが見込まれておりますが、ストロベリーコーポレーションの経営合理化を早期に実施し、事業の建て直しを図っていきます。



### モーター事業

住宅関連設備向けや季節家電新製品の売上が好調だったことから、売上高は前年同期比23.8%増の22億74百万円、セグメント利益は89百万円となりました。

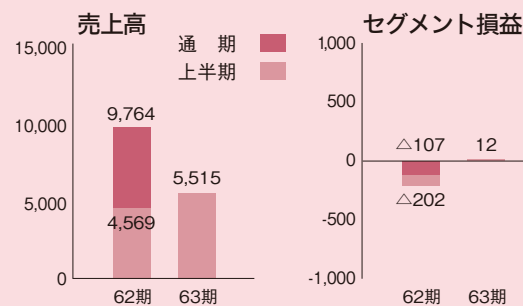
下半期も利益性の高いモーター製品の開発と販売を強化し、収益回復を継続していきます。



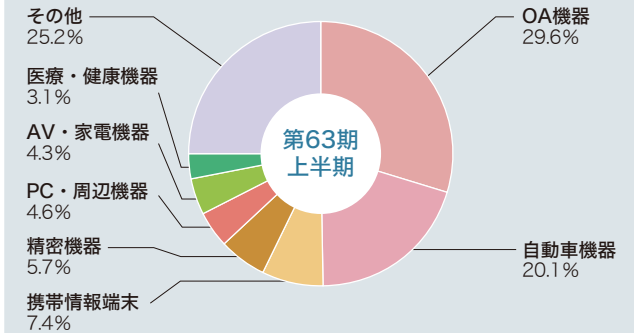
### プラスチック事業

OA機器向け製品の需要回復や自動車向け製品の販売が伸びたことから、売上高は前年同期比20.7%増の55億15百万円となりました。また、売上高の増加に伴う利益の増加と固定費削減効果により、セグメント利益は12百万円となりました。

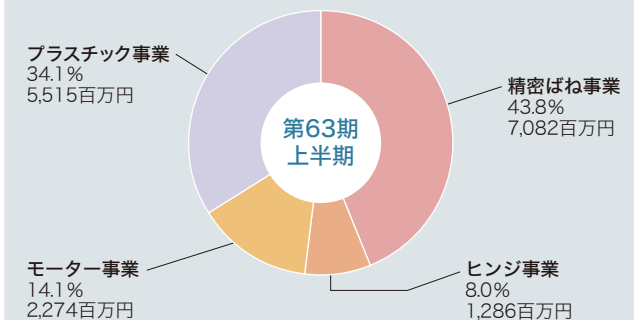
下半期は海外事業の収益改善や国内インサート成形事業の体制強化に取り組み、業績改善を図ります。



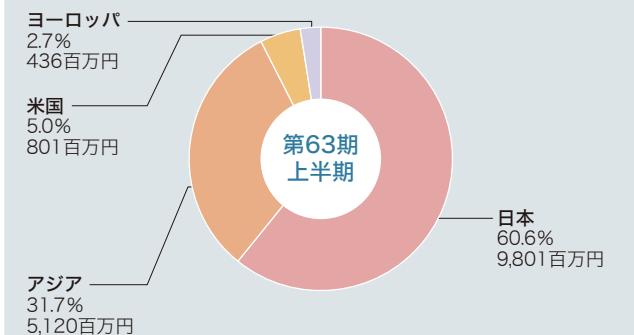
### 市場別売上高構成比



### 事業別売上高構成比



### 地域別売上高構成比



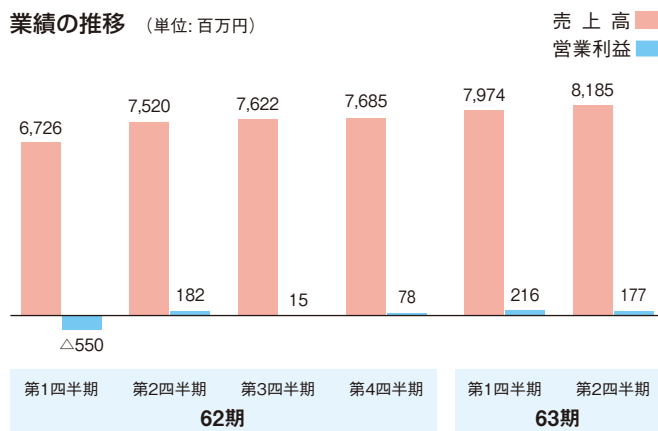
私たちはチャレンジング・スピリットを持って、大きな変革に一丸となって取り組んでいきます。

**上半期の業績回復の要因と、下半期の展望について  
どのようにお考えでしょうか。**

上半期の業績は、前年同期と比較し大きく回復しました。事業環境には着実に回復が見られるものの、2008年に米国に端を発した世界的な景気減退以前と比較すると当社の売上高は7割程度の水準です。従って、コスト構造の変革が回復の大きな要因になったと考えています。収益性の高い商品への資源の集中に加え、オペレーションのスリム化により、損益分岐点を下げることに取り組んできました。さらに、これまで長い時間をかけて育ててきた自動車市場へのアプローチが実を結び、従来になかったような商品を次々と立ち上げることができました。商品の構成も大きく変わり、良い方向に向かっています。

下半期につきましては、収益への寄与が見込める商品が複数立ち上がっておりますので、通期の目標を計画通り達成することを前提に取り組んでいきます。連結子会社のストロベリーコーポレーションが担うヒンジ事業の業績が悪化していますが、その他の事業につきましては順調に推移しておりますので、グループ全体でカバーしていきます。

業績の推移 (単位: 百万円)



**ヒンジ事業の建て直しと業績回復が急務だと思われ  
ますが、今後どのように取り組んでいかれますか。**

ヒンジ事業は、携帯電話に集中した事業戦略からの転換を図っていきます。自動車や医療関連など携帯電話以外のターゲットに対する新たな需要の発掘や、ヒンジという商品にこだわらず、事業範囲を機構部品という市場に拡大するなど、事業の安定性を確保する施策が必要です。ストロベリーコーポレーションは上場企業ですが、アドバネクスグループであることを利用して、再度成長路線に乗せるための工夫をすることが基本であると考えています。

なお、合理化により短期間に大幅なコスト削減を実現することは必須です。それを進めていくための人的支援など、今後も復活に向けてグループとして全力で取り組んでいきます。

**次々と新たな商品が立ち上がっているということ  
ですが、技術や商品の開発状況について教えてください。**

当社は、必ずしも技術優先の会社ではありません。開発した技術を基に様々な商品を作っていくということではなく、特定の商品に対して本格的に力を入れて、その商品を作るために世界一のレベルの技術を持つことを目指しています。インサートカラーという自動車向けの商品も、このようにして世界に誇れる技術レベルになりました。他にも、今後急成長が期待されるタブレット端末に使われている部品や、リチウムイオン電池の関連部品など、大きな成長を期待できる商品をいくつも抱えていますので、自信を持って前進します。



TOPICS トピックス

～ナットのゆるみ・脱落を根本的に防止～  
**ゆるまないナット ご紹介**

北九州市のメーカー、株式会社KHI（添田正道社長）様が開発したゆるみ防止ナット「ハイパーロードナット」が機械部品業界を始めとする様々な業界で注目を集めています。ゆるまない仕組みは、ナット内部に組み込んだばねにあります。ボルトがゆるもうとすると、ねじ山にばねが密着しナットのゆるみを防止します。ナットを取り外したい場合は、ばねの端を押せばよく、再利用が可能です。鉄道や橋梁、道路、プラントなど振動の多いところでは、たった1つのボルトの落下でも大事故につながりかねないため、ナットが「ゆるまない」ことが重要な要件になります。このばねを製造・供給しているのがアドバネクス。振動試験機による厳しい耐久試験をクリアするため、ばねの究極の形状を模索し、提案を行ないました。KHI様とともに商品の試作を重ね、開発開始から実に5年を経て、顧客が満足できる商品が完成しました。

この「ハイパーロードナット」に続くKHI様の新製品が「TAMONT(タモント)」。こちらはボルトに締め付けた通常のナットの外側にはめることでナットのゆるみを防止する利便性と汎用性の高い製品です。「TAMONT」は本年12月から販売開始の予定ですが、アドバネクスは製品の製造を担当するだけでなく、KHI様と初めて販売代理店契約を結び、自動車や二輪車、医療・介護用器具などの市場において新規需要を開拓していく予定です。



ハイパーロードナット



TAMONT

## 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前年度末 (第62期) 2010年3月31日現在	当第2四半期末 (第63期) 2010年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	13,980	14,053
固定資産	8,434	8,052
有形固定資産	7,380	7,002
無形固定資産	304	275
投資その他の資産	748	774
<b>資産合計</b>	<b>22,414</b>	<b>22,105</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,212	12,976
固定負債	6,888	5,492
<b>負債合計</b>	<b>18,101</b>	<b>18,468</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,274	4,367
資本金	3,451	3,451
資本剰余金	2,571	2,571
利益剰余金	△1,615	△1,521
自己株式	△133	△133
評価・換算差額等	△1,293	△1,682
その他有価証券評価差額金	16	△4
為替換算調整勘定	△1,310	△1,677
新株予約権	22	25
少数株主持分	1,309	925
<b>純資産合計</b>	<b>4,312</b>	<b>3,636</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>22,414</b>	<b>22,105</b>

## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計 (第62期) 自2009年4月1日 至2009年9月30日	当第2四半期累計 (第63期) 自2010年4月1日 至2010年9月30日
売上高	14,247	16,159
売上原価	11,379	12,890
売上総利益	2,867	3,269
販売費及び一般管理費	3,235	2,876
営業利益又は営業損失(△)	△368	393
営業外収益	150	147
営業外費用	363	328
経常利益又は経常損失(△)	△580	211
特別利益	46	10
特別損失	68	364
税金等調整前四半期純損失(△)	△602	△141
法人税、住民税及び事業税	84	133
法人税等調整額	△2	2
少数株主損失(△)	△136	△371
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△548	93

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計 (第62期) 自2009年4月1日 至2009年9月30日	当第2四半期累計 (第63期) 自2010年4月1日 至2010年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△529	419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△553
財務活動によるキャッシュ・フロー	604	△264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△95	△126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22	△524
現金及び現金同等物の期首残高	3,672	3,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,679	2,641

## 会社概要

(2010年9月30日現在)

会社名 株式会社アドバネクス (ADVANEX INC.)  
本社所在地 〒114-8581  
東京都北区田端六丁目1番1号  
設立 1946年11月  
資本金 34億5,161万円  
事業内容 精密ばね、ヒンジユニット等の製造販売  
従業員数 連結：3,220名  
単体：294名

## 株式の状況

(2010年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数…………… 125,000,000株  
発行済株式の総数…………… 40,155,637株  
株主数…………… 8,755名  
所有者別株式分布

	所有株式数	全体比率
個人・その他	29,674,053	73.90%
金融機関	6,175,282	15.37%
証券会社	1,367,323	3.41%
その他国内法人	1,629,026	4.06%
外国法人等	849,204	2.11%
自己名義株式	460,749	1.15%
計	40,155,637	100.00%

## 大株主

(2010年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
加藤 清	2,962	7.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,899	4.73
アドバネクスパートナーシップ持株会	1,239	3.09
住友信託銀行株式会社	465	1.16
西村 明美	449	1.12
加藤 雄一	404	1.01
日本証券金融株式会社	396	0.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	354	0.88
資産管理サービス信託銀行株式会社(金銭信託課税口)	300	0.75
橋本 孝二	295	0.73

なお、当社は自己名義株式を460千株(1.15%)保有しています。

## 株式インフォメーション

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会及び期末配当金  
毎年3月31日  
中間配当は実施しておりません  
その他必要があるときは、  
予め公告して定めた日

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
および特別口座の  
口座管理機関 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-176-417

インターネットホームページ URL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といたします。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
[http://www.advanex.co.jp/ir/public\\_announcements.php](http://www.advanex.co.jp/ir/public_announcements.php)

ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
(証券コード:5998)